

留学最後の月

なんとか、期末テスト・レポート期間を終えることができました。他の留学生も徐々に帰国するなり、ブラジル人の友人も家族の元に帰ったりして、大学内もだんだんと人が少なくなりました。あんなに学生がいっぱいだったバスもガラガラになっていて、すごく違和感を感じます

みんなが大学で会えなくなる前に、友人を呼んで、イビラプエラ公園でピクニックをしました！留学生も、まだ帰省していなかったブラジル人の友人も来てくれました。お互いの一年はどうだったとか、それぞれ問題や悩みを抱えていて、辛いときにはお互い支えあって助け合っていたことも思い出しました。解散するときも泣くことはなかったですね。同じ地球に住んでいるから、Adeus (さようなら) じゃなくて、Até logo, amigo(a)! (またね、友よ) っと笑顔でみんなでお別れをしました。



USPではたくさんの出会いがありました。ブラジル人も留学生も異なる文化や価値観を持った人と時間を過ごし、生活をするようになります。日本の中ではなかなか難しい、経験や体験をすることができました。楽しくて、にぎやかで、サンパウロでの思い出はすべて全部私の一生の宝物です。人生で間違いなく、最高の5か月間です。◎家族、友人、先生や教務の方々も、大変お世話になりました。Muito muito obrigada! (本当にありがとうございます!)

ブラジルの12月は1年のうちで最も暑い時期のひとつです。そして、クリスマスの日は、家族と一緒に過ごす時間を大切にします。年越しの食べ物は七面鳥、レンズ豆、パネトーネなど...人種が様々な国のブラジルは、過ごし方も多種多様で、日系人の家族なら、おこわ、巻き寿司や刺身など、日本の食文化も食卓に欠かせません。31日は祖母の家へ行き、年越しを過ごしました。祖母は日本人なので、1月1日ではお餅がたくさん入ったお雑煮を食べました。多分、あんなに沢山お餅を食べたの初めてで、とても美味しかったです!



日本に帰国するまではあと少しの時間しかありませんが、卒業論文の研究をし続けて、残りの日は家族とゆっくりと過ごしたいと思います！